

一次の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)~(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 道具を倉庫から出す。
- (2) 腹式呼吸を意識して歌う。
- (3) 異なった立場から論じる。
- (4) 歴然とした事実。
- (5) カイタンを上って教室に行く。
- (6) アブラ絵を描く。
- (7) 掛け算と引き算を使った計算。
- (8) 弓で矢をイれる。

2 次のア~ウのうち、敬語の使い方が適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。ただし、「私」は中学生であるものとする。

- ア 先生は私に「こんにちは」と申し上げた。
- イ 先生は私の描いた絵をこ覧になった。
- ウ 私は駅のホームで先生にお会いになった。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

(橋本憲一郎・山中新太郎「まちづくり」のアイデアボックス)による)

1 ① 大きな、② 大切なの品詞はそれぞれ何か。次から一つずつ選び、それぞれ記号を○で囲みなさい。

- ① ア 連体詞 イ 副詞 ウ 形容動詞
- ② エ 連体詞 オ 形容詞 カ 形容動詞

2 ③ 後者、④ 前者のさしている内容として最も適しているひとつづきの内容を、それぞれ本文中から抜き出さなさい。ただし、「後者」は十一字、「前者」は八字で抜き出すこと。

3 ⑤ まちづくりは苦行ではないとあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。a に入る内容を、本文中のことは使って十八字以上、二十三字以内で書きなさい。また、b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から八字で抜き出さなさい。

できることからはじめてみると、自分たちの動きによって、頑としてa がわかり、自分が専らすましが良くなっていくのを見ることには、b はずだから。

三次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

(注) 座禅大豆 = 黒大豆を甘く煮たもの。

1 本文中のA~Cの——を付けたことばのうち、その動作を行っている人物の異なるものが一つだけある。その記号を○で囲みなさい。

2 ① おまぬれを現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

3 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア ある法師は、座禅大豆を食べようとする小児と大児に向かって、小児よりも大児の方が多く食べるようにしなさいと言った。
- イ 小児は、座禅大豆をすぐに食べようとした大児に対して、後で誰も見ていないところで食べるべきだと言って着を渡した。
- ウ 大児は座禅大豆を着で二粒ずつはさもうとしたためうまきはさめなかったが、小児は一粒ずつはさんだためうまきはさめた。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

(三宮麻由子「センス・オブ・何だあ?」による)

2 本文中には次の一文が入る。入る場所として最も適しているものを本文中の **ア** ～ **エ** から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

この土の山は畑の畝、樺のようなものは芋のつるでした。

3 ② 衝撃を受けましたとあるが、本文において、筆者はどのようなことに衝撃を受けたのか。その内容についてまとめた次の文の **a**、**b** に入れるのに最も適しているひとつづきのことを、それぞれ本文中から抜き出さなさい。ただし、**a** は十字、**b** は五字で抜き出すことに、
 子どもの芋ほりを受け入れる農園の多くが、子どもが芋を **a** ように、
b をしているということ。

4 ③ 本物といっても許されるでしょうとあるが、本文中で筆者は、ジャガキッズの芋ほりは、どのような点において本物だといえるかと述べているか。その内容についてまとめた次の文の **□** に入る内容を、本文中のことばを使って二十字以上、三十字以内で書きなさい。

農家の方に整備してもらわずに、自分で **□** という点

5 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア** 筆者は、芋ほりを経験するまでは、芋は一本の独立したつるの下にできるものと思い込んでいたが、幼稚園の遠足で芋ほりを経験したことで、芋は何本ものつるが絡まった下にできているものであることを知った。
イ 幼稚園の遠足の芋ほりでは、筆者がつるを引くと、重たい芋がいくつかつながって土を散らしながら出てきたが、散った土はかなり冷たく、出てきた芋はしっとりと湿っていて指と同じ温度のように思えた。
ウ 筆者は、ジャガキッズという種類のジャガイモを植えて芋ほりをし、店で買った芋と一緒に鍋でゆでたところ、ジャガキッズの甘味が店で買った芋の甘味より濃くしたということに驚いた。
エ 幼稚園の遠足の芋ほりは本物の農作業から見れば「なんちゃって」だったかもしれないが、筆者はその経験から、本物に近い芋ほりをしてみたいと思いつくことができ、その結果一つの新しい楽しみに出会うことができた。

五 早く時間が過ぎたと感じるのはどのようなときだと思いますか。自分の体験を挙げながら、あなたの考えを別の原稿用紙に百八十字以内で書きなさい。

受験
番号

番

得点

〈問題五を除く〉

二							
3			2		1		
b	a		④	③	②	①	
			頑 として		エ	ア	
23							
が わ か り、						オ	イ
18							
					カ	ウ	

22	4	6	3	3	3	3	採点
----	---	---	---	---	---	---	----

一								
2	1							
	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ア								
イ	る	り 算	絵		歴	論	腹	倉
ウ					然	じ る	式	庫

18	2	2	2	2	2	2	2	2	2	採点
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

四						
5	4		3	2	1	
			b	a		
ア			自 分 で		ア	ア
イ	20				イ	イ
ウ	30				ウ	ウ
エ					エ	エ

26	5	6	4	4	4	3	採点
----	---	---	---	---	---	---	----

三		
3	2	1
ア		A
イ		B
ウ		C

12	4	4	4	採点
----	---	---	---	----

